

まちのうごき		面積 7.67km ²	
(12月1日現在)		(11月中)	
世帯数	18,268世帯	生まれた人	59人
人口	53,426人	亡くなった人	22人
男	26,245人	転入した人	208人
女	27,181人	転出した人	277人

向日市 広報

No.565

平成6年(1994年)1月1日

◎発行 向日市役所(京都府向日市寺戸町中野20)
◎編集 秘書広報課 ◎電話 075(931)1111



住みよい、魅力あるまちづくり

市民の皆さん、あけましておめでとうございます。一九九四年の新春を、ご家族おそろいで健やかに迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

昨年は、長引く不況の影響を受け、厳しい財政環境のなかではありましたが、私は、待望の「天文館」の開館をはじめ、市民温水プールや福祉会館の建設着手、生活環境の整備や文化政策の推進など、個性豊かなふるさとづくりに全力を傾注してまいりました。

とりわけ、急速に進行する高齢化社会に対応するため、老人保健福祉計画の策定をはじめ、生きがいと健康対策、在宅福祉の拡充など、きめ細かな福祉・保健施策の充実・強化を図ることができました。

これひとえに、市民の皆様方の温かいご理解、ご協力のたまものであり、心から厚くお礼を申し上げます。

さて、今日、二十一世紀を間近に控え、激しく変動する内外の諸情勢の中で、バブル崩壊後の経済不況は産業界全体に及び、また国民生活にも影響し、地方財政をも圧迫いたしております。一方で、市民の行政ニーズも多様化し、高度化をきたしています。

こうした中で、私は、厳しい財政環境にあっても、市民ニーズに適切に応え、ふるさと向日市を誰もが住みたくなる「福祉・文化の香り高い定住都市」に築き上げるため、まちづくり諸施策を着実に進めたく存じています。



特に、快適な住環境をつくりだすため、平成七年度完遂に向けて公共下水道事業の促進、総合雨水排除計画に基づく浸水地域の解消、安定的な上水の供給、駅前周辺や生活道路の整備、西ノ岡丘陵の緑の保全や緑化事業の推進など、都市環境の整備に努めてまいります。

また、「人生八十年時代」を迎えた今日、高齢者の方々が健康で生きがいを持ち、安心して暮らせるまちとするため、本年八月完成に向けての「向日市福祉会館」の建設や特別養護老人ホーム設置への取り組みなど、総合的な福祉・保健・医療施策の充実を期す一方、活気のあるまちとするため、地場産業の育成を図る所存です。

さらには、心の豊かさを育むため、生涯教育の推進をはじめ、文化政策の充実や本年十一月完成をめざしての「市民温水プール」の整備、米国サラトガ市、中国杭州市との国際交流事業、平和施策や女性政策の拡充など、推進してまいりたく存じます。

来るべき二十一世紀に向けて解決すべき課題は山積しておりますが、私は、市民のくらしを守り、緑豊かな美しいまち、住みよい魅力あるふるさとづくりに全力を挙げて取り組む所存です。

市民の皆様方の力強いご支援・ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様方のご健康とご多幸を心からお祈りいたしまして、年頭に当たってのご挨拶とさせていただきます。

向日市長 民秋 徳夫